

## 平成30年春ダイヤ改正の会社提案説明を受ける

12月15日、地本は、会社から「平成30年春ダイヤ改正」について説明を受けました。

平成30年春ダイヤ改正では、東海道線、中央線、武豊線でのダイヤの修正や中央新幹線建設工事の施工で名古屋駅2番線の使用停止があることなどが説明されました。

地本は、提案の解明要求と各職場からの要求をまとめ早急に申し入れを行っていきます。

平成30年春ダイヤ改正実施時期 平成30年3月17日(土)

会社への要求集約日 平成29年12月25日(月)

### 【主な説明内容】

- ・ 特急「ひだ」運転間隔の一部変更、最終列車の時刻繰り下げ
- ・ 東海道線 刈谷～名古屋駅土休日の朝に列車を増発
- ・ 中央線名古屋駅到着22時以降の上り列車の運転間隔を変更、最終列車の時刻繰り下げ
- ・ 武豊線 土休日のみで運転している快速を区間快速に変更
- ・ 名古屋駅2番線は、中央新幹線工事の円滑な施工のため、一定期間使用を停止など

1. 名古屋駅2番線は、中央新幹線工事の円滑な施工のために一定期間使用を停止する(組合)一定期間とはどのくらいなのか。

(会社)あくまで予定だか、おおむね1年を予定している。

(組合)これによるダイヤや作業に対する変更は何か。

(会社)特急「ひだ」の熱田駅への回送を3本行う。特急「しなの」の名古屋車両区への入区を1本から4本にする。名古屋車両区に給水設備を新設する。

(組合)名古屋車両区での給水設備は何番で行うのか。

(会社)東4番線である。

(組合)「ひだ」は熱田で清掃をして名古屋へ回送して発車するのか。

(会社)名古屋へ到着後、引き上げ後、名古屋車両区へ入区するパターンが多い。

(組合)「しなの」の入区では何が変わるのか。

(会社)中津川運輸区も1本入区するため線見を行っている。

(組合)前回も述べたが、現場では提案前に線見が行われている。組合軽視である。

(組合)名古屋駅の2番線が使用停止の振り替えはどうするのか。

(会社) 東海道上りの快速は1番線を中心に普通列車は3番線を中心に発着する。また、「しらさぎ」は15時以降の3本は11番線から発車する。東海道の「ホームライナー」も2本11番線からの発車とする。

(組合) 案内が非常に複雑になる。ポスターなどで旅客案内をしっかりと行うこと。

## 2. 運用関係について

(組合) 交番での変更はあるのか。

(会社) 豊橋運輸区では日勤を一つ減らし泊行路を一つ増やす。要員を1増員とする。

中津川運輸区では19日廻りを20日廻りにする。要員を1増員とする。

名古屋運輸区では2組の日勤行路を増やし19日廻りから20日廻りにする。EC3組では6徹0日勤を5徹2日勤にした。

また、豊橋～浜松間で豊橋運輸区が4本運転するが4本とも静岡支社担当とすることにより豊橋以東は静岡支社、以西は東海鉄事と系統分離を行う。

(組合) 神領運輸区運転士2組でも2日勤がなくなり1泊行路が増えているが、なぜ説明しないのか。

(会社) もう一度確認して説明する。

(組合) 安全の確立のためには系統分離は必要と組合も考える。しかし、名古屋運輸区では多方面の受け持ちがある。少しでも系統分離を進められないか。

(会社) 名古屋運輸区は中心だから必要である。

(組合) その結果として、線見などの回数が多いことや年休が出にくい原因にもなっている。名古屋付近でも系統分離を進めるべきだ。

## 3. その他

(組合) 特急「あさぎり」の列車名を「ふじさん」にした理由は何か。

(会社) 「あさぎり」では分かりにくいので富士山へ向かう特急ということで「ふじさん」にした。

(組合) 車両キロが大幅に増となっている要因は何か。

(会社) 名古屋駅での作業を減らすために、分割・併合を行わずに列車を運行するためである。特に関西線では編成が長くなっている。

(組合) 詳細は持ち帰り検討し、期間がないが各職場からの要求をまとめ申し入れを行なう。

以 上